

「下水道ふれあい展」が開催されました！！

～ きれいな水を未来まで ～

下水環境課

昭和36年に「全国下水道促進デー」として始まった「下水道の日」の記念行事として、下水道に関する知識の普及、啓発を図ることを目的に、10月29日（土）に「下水道ふれあい展～きれいな水を未来まで～」が開催されました。例年、下水道の日に合わせて、9月上旬に盛岡市東見前の都南浄化センターを会場にした「下水道フェスタ」を開催していましたが、今年度は、会場を一関市中里の一関浄化センターに変更して一関市と（公財）岩手県下水道公社との共催により開催されました。

当日は、102名の来場者でにぎわい、下水道ふれあい展の目玉である「浄化センターの施設見学」や「顕微鏡を使った微生物観察」、下水処理の流れが体験できる「下水道すごろく」、パソコンを使ってゲーム感覚で学習できる「下水道クイズ」など、様々なイベントにより子供から大人まで楽しんでいただきました。

参加した子供達からは、「汚れた水を微生物が食べてきれいな水にしていることに驚いた！」「浄化センターが24時間働いていることにびっくりした！」などの声がありました。

これをきっかけに、たくさんの方々に下水道への関心を持っていただき、下水道を今以上に大切に、正しく使っていただくとともに、下水道の普及がさらに進むことを期待しています。

水処理の状況が分かる「施設見学」



目玉イベント「施設見学」の地下道探検！



こちらも大人気！「顕微鏡で微生物観察」



下水処理が体験できる「下水道すごろく」



「下水道の日」とは??

下水道は、「浸水から街を守る」という重要な役割を持つことから、立春から数えて220日、統計的に台風などが多いこの時期の毎年9月10日を「下水道の日」と定めています。